

令和3年度

主要・新規事業等の概要



高 浜 市

目 次

一 般 会 計

2 款 総務費

- No. 1 ICT推進事業（AIを活用した総合案内サービス業務委託）
【継続】 3
- No. 2 ICT推進事業（テレワーク構築業務委託）【新規】 5
- No. 3 ICT推進事業（AI-OCR共同利用サービス利用料）
【継続】 7
- No. 4 市制施行50周年記念事業【継続】 9
- No. 5 防災活動事業（消耗品費：新型コロナウイルス感染症対策分）
【新規】 13

3 款 民生費

- No. 6 地域生活支援事業（障がい者地域生活総合支援業務委託）
【継続】 15
- No. 7 小規模保育事業（地域型保育給付費）【新規】 17

4 款 衛生費

- No. 8 新型コロナウイルス感染症対策推進事業（個別接種業務委託等）
【新規】 19
- No. 9 母子保健事業（機械器具費）【新規】 21

8 款 土木費

- No. 10 交通安全指導啓発事業（自転車用ヘルメット購入費補助金）
【新規】 22

10 款 教育費

- No. 11 教育委員会運営事業（保護者連絡システム導入業務委託等）
【新規】 23
- No. 12 小学校維持管理事業（港小学校長寿命化改良事業設計業務委託）
《債務負担行為》【新規】 24
- No. 13 中学校維持管理事業（高浜中学校プール改修工事費等）【新規】 . . . 25
- No. 14 中学校維持管理事業（高浜中学校トイレ改修工事費）【新規】 . . . 26
- No. 15 生涯スポーツ推進事業（体育センター解体工事費等）【継続】 . . . 27

第6次高浜市総合計画における体系別 主要・新規事業一覧

I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

No. 1	ICT推進事業（AIを活用した総合案内サービス業務委託）	3
No. 2	ICT推進事業（テレワーク構築業務委託）	5
No. 3	ICT推進事業（AI-OCR共同利用サービス利用料）	7
No. 4	市制施行50周年記念事業	9

II 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

No. 7	小規模保育事業（地域型保育給付費）	17
No. 11	教育委員会運営事業（保護者連絡システム導入業務委託等）	23
No. 12	小学校維持管理事業（港小学校長寿命化改良事業設計業務委託）《債務負担行為》	24
No. 13	中学校維持管理事業（高浜中学校プール改修工事費等）	25
No. 14	中学校維持管理事業（高浜中学校トイレ改修工事費）	26
No. 15	生涯スポーツ推進事業（体育センター解体工事費等）	27

III 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

No. 5	防災活動事業（消耗品費：新型コロナウイルス感染症対策分）	13
No. 10	交通安全指導啓発事業（自転車用ヘルメット購入費補助金）	22

IV いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう

No. 6	地域生活支援事業（障がい者地域生活総合支援業務委託）	15
No. 8	新型コロナウイルス感染症対策推進事業（個別接種業務委託等）	19
No. 9	母子保健事業（機械器具費）	21

主要・新規事業等												
事業名等	ICT推進事業 (AIを活用した総合案内サービス業務委託) 【継続】											
担当グループ	企画部ICT推進グループ											
総合計画区分	基本 目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう					個別 目標	(1) まちへの想いを育み、いつまでも住み 続けたいと思えるまちをつくります				
予算区分	会計	一般会計	款	02総務費	項	01総務管理費	目	12企画費				
アクションプラン	事業名: 10 ICT推進事業											
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	行政サービスの手続きなどの問い合わせ時間の縮減は喫緊の課題です。これに対し、民間企業などで導入が進んでいるチャット（対話形式）に注目が集まっていますが、導入コストや質疑応答の管理など事務負担の問題を解決する必要があり、他市町村と共同でシステムの共同調達、質疑応答集の共同利用を進めていく必要があります。										
	目的 (何のために)	AI（人工知能）を活用し、証明書発行の申請手続きやゴミ分別等の市民からよくある問い合わせをチャット（対話形式）で365日、24時間自動応答するシステムを愛知県内の43市町村で共同調達し、質疑応答集も共同利用することで、コストを抑え、市民の利便性の向上と市職員の問い合わせ対応時間の縮減を図ります。										
	対象 (誰・何を対象に)	問い合わせ対応時間										
	事業内容 (手段、手法など)	平成31年1月に設置された「あいちAI・ロボティクス連携共同研究会」（愛知県内54市町村が加入、事務局愛知県）にて選定した「AIを活用した総合案内システム」を愛知県内の43市町村と共同利用し、AIを活用した総合案内サービスを実施します。 サービスの概要は「資料等」で示したとおりであり、令和2年度に作成した29分野、約2,800の想定質問を搭載したシステムを高浜市公式ホームページ上で実施し、活用状況を見ながら、「LINE」アプリへの展開を図ります。										
目指す成果 (期待される効果)	AIチャットボットサービスを実施することにより、市民の利便性の向上と市職員の問い合わせ対応時間の縮減を図ります。											
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）	
	AIチャットボットサービスの開始										令和3年4月	
事業費 積算内容	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
	858 千円						858					
事業費積算内容		・AIを活用した総合案内サービス業務委託料 858千円 (全体事業費 36,058千円、うち高浜市分 858千円)										
事業実施 スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	<input checked="" type="checkbox"/> AIチャットボットサービスの開始											
予算書及び予算説明書該当ページ		105ページ										

これまでの主な取組と成果

事業年度	令和2年度	総事業費	368千円			
これまでの主な取組と成果	<p>平成31年1月に設置された「あいちAI・ロボティクス連携共同研究会」（愛知県内54市町村が加入、事務局愛知県）にて研究・選定したシステムを導入しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度：あいちAI・ロボティクス連携共同研究会設置 令和元年度：AIチャットボットの研究・検討 令和2年度：AIチャットボットの選定・調達・システム構築等（負担金として支出） 					
令和2年度（予算）	取組内容	システム構築にあたり、税、戸籍、国民年金など計29分野、約2,800（うち高浜市独自の質疑応答は約700、他市町村共通の質疑応答は約2,100）の質疑応答を作成。				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	368千円					368
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> あいちAI・ロボティクス連携共同研究会負担金 368千円 （全体事業費 22,523千円、うち高浜市分 368千円） 					

資料等（位置図等）

ユーザインターフェースイメージ

QAデータ更新の流れ

QAデータ追加

共有システム

AI成長 UP

追加登録
学習完了

→

委託先
(企業)

チャットボットに反映

→

参加団体

← 委託先作業 追加登録学習

← 追加・修正・削除依頼 ※緊急時は速やかに対応

愛知県内54市町村のうち43団体が加入

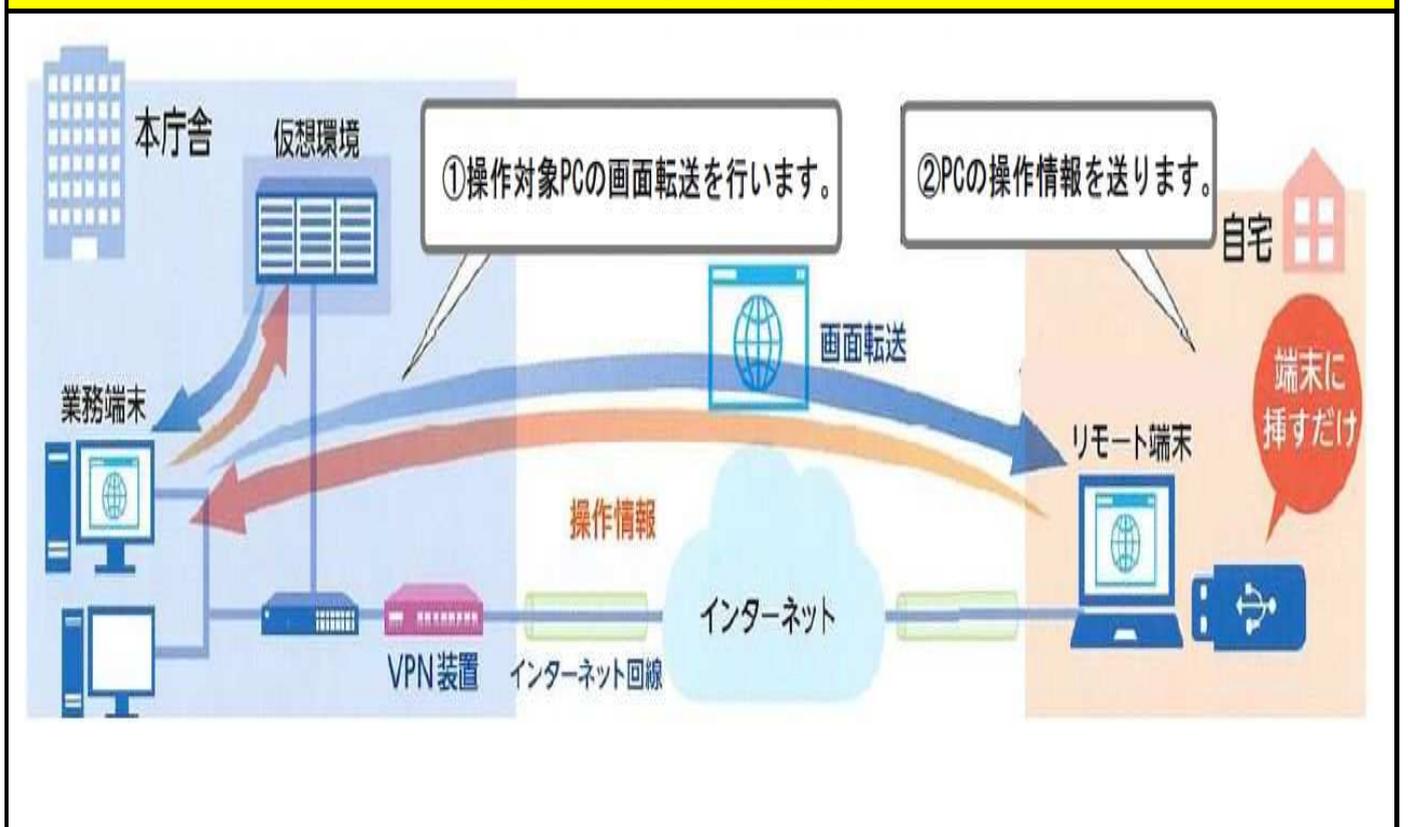
委託料の算根拠は、全体事業費に対し県内43団体で均等割及び人口割による按分となっています。

主要・新規事業等													
事業名等	ICT推進事業（テレワーク構築業務委託）【新規】												
担当グループ	企画部ICT推進グループ												
総合計画区分	基本 目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう					個別 目標	(1) まちへの想いを育み、いつまでも住み 続けたいと思えるまちをつくります					
予算区分	会計	一般会計	款	02総務費	項	01総務管理費	目	12企画費					
アクションプラン	事業名 10 ICT推進事業												
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない												
事業概要	事業の必要性・ 実施の背景	新型コロナウイルス感染症対策として市職員の時差出勤や在宅勤務が求められ、テレワークへの関心が高まっています。 このため、時差出勤、別室での分散勤務など他の施策と合わせテレワークを推進し、市職員が感染しない対策を進める必要があります。											
	目的 (何のために)	セキュリティの高いシステムを構築し、テレワークを推進する。											
	対象 (誰・何を対象に)	市職員											
	事業内容 (手段、手法など)	新型コロナウイルス感染症対策としてテレワークが注目されていること及び職員アンケートの結果を踏まえ、令和2年度に整備したテレワークシステム20台分に30台分を加え、50台体制として整備するものです。 システムの構成としては、初期設定に係る時間短縮とシステム管理の効率性の観点から令和2年度に整備したスタンドアローン型（個別対応型）から令和3年度はサーバ型へと移行し、50台分を一元管理します。 なおシステムの概要は「資料等」をご参照ください。											
目指す成果 (期待される効果)	テレワークの実施により在宅勤務者を増加させる。												
目標設定 (なるべく定量的な 目標値を記入)	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）		
	テレワークシステムの構築と実施										令和3年4月		
事業費 積算内容	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）										
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
	1,641 千円									1,641			
・テレワーク構築業務委託料 1,641千円 （導入作業費、管理サーバライセンス、ブート型USB※30、保守料など）													
事業実施 スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
	<input checked="" type="checkbox"/> システム構築 <input checked="" type="checkbox"/> テレワークの実施 <input type="checkbox"/> 20台体制 <input type="checkbox"/> 50台体制（+30台体制）												
	<div style="text-align: right;">→</div>												
予算書及び予算説明書該当ページ		105ページ											

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成2年度	総事業費	625千円			
これまでの主な取組と成果	令和2年度にテレワークシステム20台分を整備するとともに新型コロナウイルス感染症の長期化を見据え、定期的にテレワークできる職員を把握するためのアンケートを実施し、最大50名程度の職員がテレワークが実施可能と判明したため、令和3年度に50台体制へ拡大することとしました。					
令和2年度 (予算)	取組内容	・テレワークシステムの導入(20台分)				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
	625千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	主な経費	テレワーク構築業務委託料 625千円 (導入作業費、ブート型USB✖20、保守料など)				

資料等(位置図等)



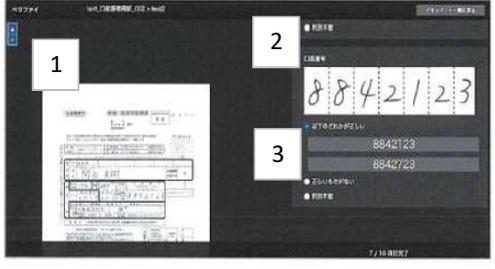
主要・新規事業等												
事業名等	ICT推進事業（AI-OCR共同利用サービス利用料）【継続】											
担当グループ	企画部ICT推進グループ											
総合計画区分	基本 目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう					個別 目標	(1) まちへの想いを育み、いつまでも住み 続けたいと思えるまちをつくります				
予算区分	会計	一般会計	款	02総務費	項	01総務管理費	目	12企画費				
アクションプラン	事業名: 10 ICT推進事業											
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	デジタル技術やAI等の活用による業務効率化を検討するうえで、手書き資料や紙のみで管理している資料のデジタル化が課題となっています。このため、紙で管理している情報をデジタル化する、AI-OCRの技術が注目されています。										
	目的 (何のために)	各種申請書や請求書など手書き情報や紙で管理している情報のデジタル化により、データ入力作業等の効率化を図ります。										
	対象 (誰・何を対象に)	紙で管理している情報										
	事業内容 (手段、手法など)	平成31年1月に設置された「あいちAI・ロボティクス連携共同研究会」（愛知県内54市町村が加入、事務局愛知県）にて研究・選定したシステムを導入します。導入したシステムについては、各グループに1名ずつ配置した情報化推進員を中心に紙情報のデジタル化や入力作業の効率化を図ります。										
目指す成果 (期待される効果)	手書きの書類のデータ入力作業の効率化や紙で管理している情報のデジタル化を進め、業務の効率化を図ります。											
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）	
	AI-OCRの活用										令和3年4月	
事業費積算内容	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
	573 千円						573					
事業実施スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ AI-OCR共同利用サービス利用料 573千円 (全体事業費 32,760千円、うち高浜市分 573千円) 											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	<input checked="" type="checkbox"/> AI-OCRの活用											
予算書及び予算説明書該当ページ	105ページ											

これまでの主な取組と成果

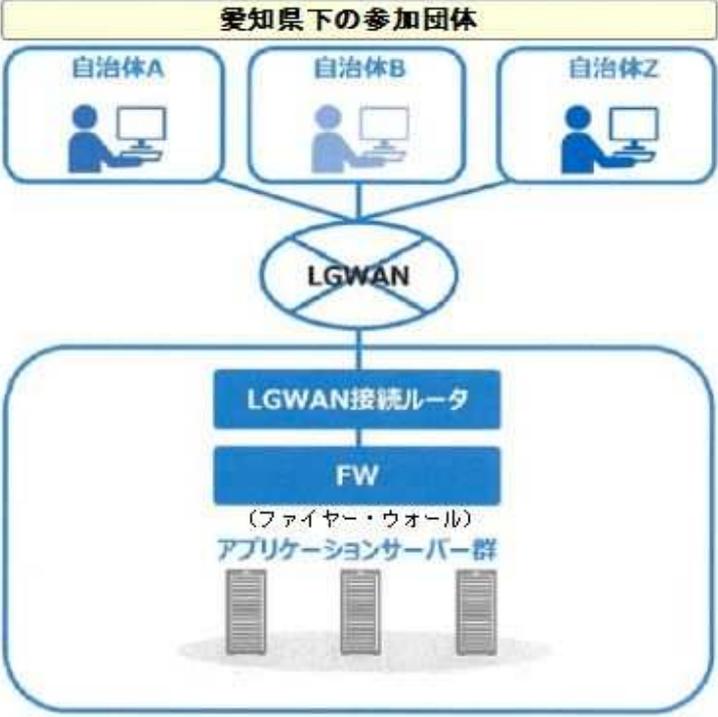
事業年度	令和2年度	総事業費	231千円			
これまでの主な取組と成果	<p>平成31年1月に設置された「あいちAI・ロボティクス連携共同研究会」（愛知県内54市町村が加入、事務局愛知県）にて研究・選定したシステムを導入しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度：あいちAI・ロボティクス連携共同研究会設置 令和元年度：AI-OCRシステムの研究・検討 令和2年度：AI-OCRシステムの選定・調達・システム構築等（負担金として支出） 					
令和2年度（予算）	取組内容	あいちAI・ロボティクス連携共同研究会を通じてAI-OCRシステムの選定・調達・システム構築等を実施しました。				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	231 千円					231
主な経費	あいちAI・ロボティクス連携共同研究会負担金 231千円					

資料等（位置図等）

ベリファイ画面



環境イメージ図



■ベリファイ画面の説明

1 手書き資料	2 読み取りイメージ
	3 読み取りデータ

主要・新規事業等

事業名等		市制施行50周年記念事業【継続】							
担当グループ		企画部総合政策グループ・企画部秘書人事グループ							
総合計画区分		基本 目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう	個別 目標	(1) まちへの想いを育み、いつまでも住み 続けたいと思えるまちをつくります				
予算区分		会計	一般会計	款	02総務費	項	01総務管理費	目	12企画費
アクションプラン		事業名 12市制施行50周年記念事業							
アクションプラン		<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない							
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<p>高浜市市制施行50周年という大きな節目の年を、第6次高浜市総合計画（2011年～2022年）に掲げている将来都市像「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」を達成するために、行政のみによる形式的な事業実施ではなく、市民の皆さんと行政が手と手を取り合い一緒になって企画・立案し、自ら実践することのできる事業を実施していく。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度に実施できず延期した事業を実施する。</p>							
	目的 (何のために)	<p>半世紀の時を経て、高浜市として次の50年を築き、100年を迎えていくための新たなスタートを切るため、これまでの50年間、高浜市を支えてきた先人たちの想いをこれからの50年を創っていく世代に伝えていくため。</p>							
	対象 (誰・何を対象に)	市民							
	事業内容 (手段、手法など)	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度に延期をした市制施行50周年記念式典、並びに市制施行50周年記念事業を実施する。また、記録・PR事業についても昨年度より継続して実施する。</p> <p>【記念式典】 市制施行50周年を祝うため、従来の市民表彰式に50周年のアトラクションを加えて実施する。</p> <p>【記念事業】 <高浜市市民会議50企画事業> 市制施行50周年を盛り上げるため、市民によって結成された「高浜市市民会議50」で計画、実行する50周年記念事業。（4事業） ①おたかわら探し事業 ②わくわくワーク事業 ③笑顔の写真展事業 ④鬼みちまつりで50thオリジナルの灯り事業</p> <p><市民募集アイデア事業> 市制施行50周年を盛り上げるため、市民、団体、企業等より募集した市制施行50周年を記念する事業アイデアを実施する事業。（7事業） ①高浜アーカイブス ②イルミネーション事業 ③高浜50年ありがとう ごみ拾い ④市民合唱による第9演奏で50周年を祝う ⑤高浜市民記録に挑戦 ⑥天野浩名古屋大学教授基調講演 ⑦張濱記念コンサート</p> <p>【記録・PR事業】 広報誌やインターネット、SNSなど、各種媒体を使った積極的な情報発信により、市全体の市制施行50周年を祝う機運を高める。また記念誌を制作する。</p>							
	目指す成果 (期待される効果)	<p>■市制施行50周年記念事業を通じて、市民がこれまでの50年を振り返ることで、高浜市の良さに気づき、郷土への誇りを感じ、愛着が高まる。</p> <p>■高浜市の魅力を市内外に発信することができる。</p> <p>■市制施行50周年の取組に参加した市民が高浜市のことを考えるきっかけとなり、まちづくりの新たな担い手の発掘につながる。</p>							

目標設定 (なるべく定量的な 目標値を記入)	目標 (何をどのようにする)										達成時期 (いつまでに)		
	高浜市市民会議50メンバーから次期総合計画の策定に関わる人材を発掘する。										令和4年3月		
事業費 積算内容	事業費 (経費)		財源内訳 (単位: 千円)										
	7,863 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	3,931					
<ul style="list-style-type: none"> ■報償費 782千円 (◎講演等講師謝礼352千円 ◎市民合唱指導等謝礼160千円 等) ■消耗品費 647千円 ■印刷製本費 659千円 (記念誌、募集チラシ、地図 等) ■委託料 4,484千円 (◎市制施行50周年記念式典業務委託料1,306千円 ◎記念演奏業務委託料1,100千円 ◎会場設営業務委託料815千円 等) ■使用料及び賃借料 1,191千円 (◎公共施設等会場使用料927千円 等) ■負担金 100千円 													
事業実施 スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
											★12月上旬 記念式典		
	◆おたから探し事業(高浜市市民会議50企画事業)												
						◆わくわくワーク事業(夏休み頃)							
				◆笑顔の写真展事業 【5月~6月頃募集開始】 【展示・表彰】									
								◆鬼みちまつりでオリジナルの灯り事業 (10月)					
								●高浜アーカイブス (鬼みちまつり、式典)					
										●イルミネーション 【12月~1月頃】			
	●高浜50年ありがとう ごみ拾い 夏頃人形劇、市民一斉清掃等でPR												
							●市民合唱による第9演奏で50周年を祝う						
											●高浜市民記録に挑戦		
											●天野浩名古屋大学教授基調講演		
										●張濱(チャンビン氏)記念コンサート (秋頃)			
												□ 記念誌完成	
予算書及び予算説明書該当ページ			107ページ										

これまでの主な取組と成果

これまでの主な取組と成果						
事業年度	令和元年度 ～ 令和2年度	総事業費	24,738千円			
これまでの主な取組と成果	<p>【プレイベント】</p> <p>①50周年人を決める「じゃんけん大会」 ②ペットボトルキャップアートでシンボルマークづくり ③50周年PRガチャガチャの設置 ④50周年PR Tシャツの作成・PR</p> <p>【市制50周年記念事業】</p> <p><高浜市市民会議50企画事業></p> <p>①テーマソング事業 ②笑顔の写真展事業 ③オリジナル食べ物づくり事業</p> <p><市民募集アイデア事業></p> <p>①PR動画制作 ②かわら記念グッズ制作 ③インスタで新名所づくり ④かわらメダル制作</p> <p>【記録・PR事業】</p> <p>・記念動画制作</p>					
令和2年度 (予算)	取組内容	<p>【市制50周年記念事業】</p> <p><高浜市市民会議50企画事業></p> <p>①テーマソング事業 ②笑顔の写真展事業 ③オリジナル食べ物づくり事業</p> <p><市民募集アイデア事業></p> <p>①PR動画制作 ②かわら記念グッズ制作 ③インスタで新名所づくり ④かわらメダル制作</p> <p>【記録・PR事業】</p> <p>・記念動画制作</p>				
事業費(経費)		財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
24,595千円					9,108	15,487
主な経費	<p>◆報償費 742千円 (◎講演等講師謝礼482千円 ◎市民合唱指導等謝礼160千円 等)</p> <p>◆消耗品費 742千円</p> <p>◆印刷製本費 2,067千円 (記念誌、PR用ポスター、パンフレット、CDジャケット、地図 等)</p> <p>◆委託料 12,424千円 (◎記念動画制作業務委託料3,869千円 ◎記念品制作業務委託料6,031千円 ◎記念演奏業務委託料1,100千円 等)</p> <p>◆使用料及び賃借料 8,505千円 (◎公共施設等会場使用料236千円 ◎著作権使用料8,250千円 等) 等</p>					
令和元年度 (決算)	取組内容	<p>≪プレイベント≫</p> <p>①50周年人を決める「じゃんけん大会」 ②ペットボトルキャップアートでシンボルマークづくり ③50周年PRガチャガチャの設置 ④50周年PR Tシャツの作成・PR</p> <p>≪市制50周年記念事業準備≫</p> <p>①テーマソング事業(テーマソングの制作) ②おたかわら探し事業(おたかわらの制作)</p>				
事業費(経費)		財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
972千円					959	13
主な経費	<p>◆報償費 50千円 (◎プレイベントプレゼンター謝礼 50千円)</p> <p>◆消耗品費 321千円</p> <p>◆委託料 601千円 (◎テーマソング制作業務委託料500千円、◎おたかわら制作業務委託料101千円)</p>					

資料等(位置図等)



PR動画制作(名古屋行き最終列車～三河線編～)



Instagramフォトコンテスト



かわらメダル



オリジナル食べ物(ピーナッツパピヨン)



笑顔の写真展



高浜市テーマソング
ハッピースマイルタカハマ
～ちょうどいいまちちょっといいまち～
ダンスと健康体操の振り付けも制作



市制50周年記念動画制作



かわら記念品(おたかわら)制作

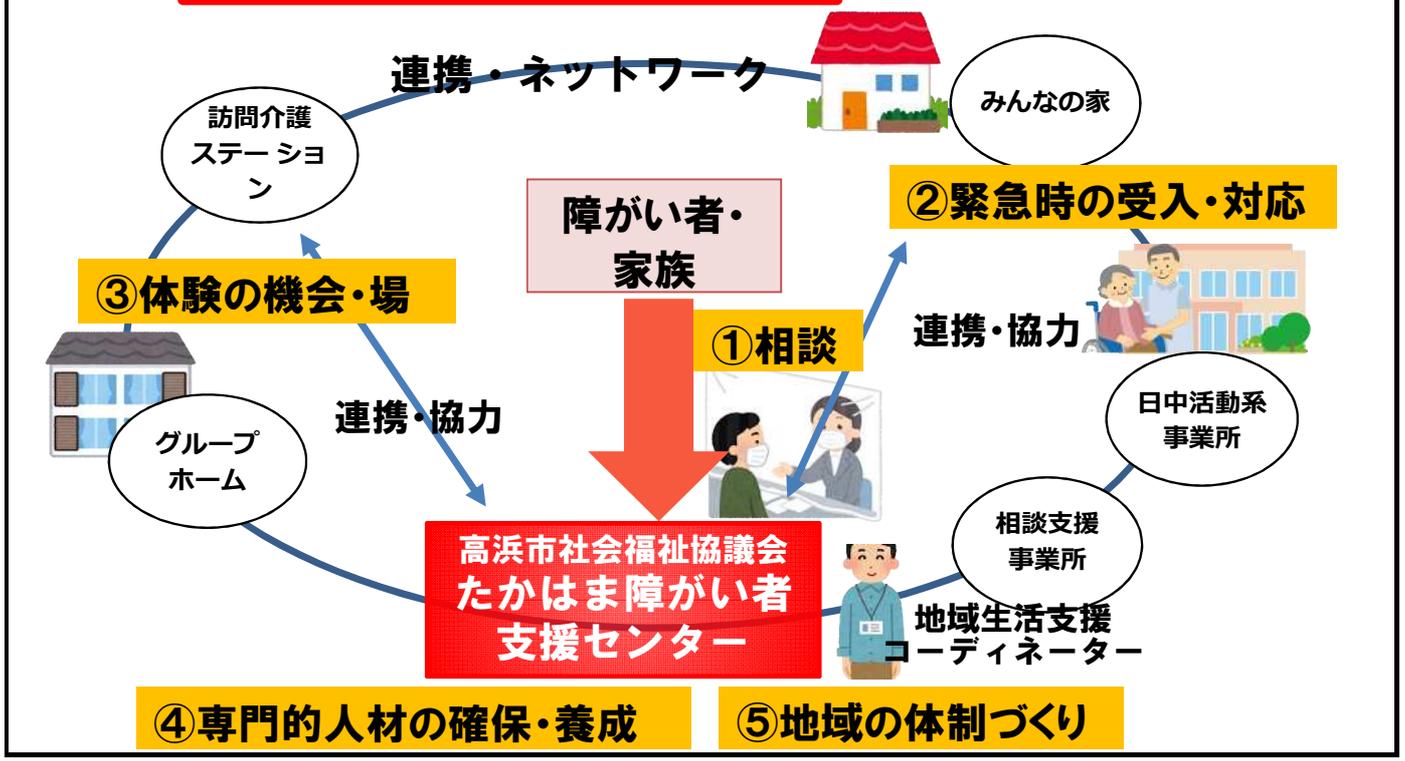
主要・新規事業等

事業名等	防災活動事業 (消耗品費：新型コロナウイルス感染症対策分) 【新規】													
担当グループ	都市政策部防災防犯グループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう						個別目標	(9) 安全・安心が実感できる まちづくりを進めます					
予算区分	会計	一般会計		款	02総務費		項	01総務管理費		目	18防災対策費			
	事業名：01防災活動事業													
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	感染症対策用災害物資については、これまでも計画的に備蓄を進めてきたが、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、更なる備蓄の充実を図る中で、避難所における感染症防止対策の強化に取り組んでいく必要がある。												
	目的 (何のために)	新型コロナウイルスなどの感染症対策用災害物資の備蓄を充実することで、災害時における避難所での感染防止を図るため。												
	対象 (誰・何を対象に)	市民等												
	事業内容 (手段、手法など)	感染症対策用災害物資の購入 ・消毒スプレー 180本 ・マスク 20,340枚 ・ゴム製手袋 18,200枚 ・除菌ジェル 36本 ・折りたたみベッド 146台 ・パーテーション 46台 ・非接触型体温計 30台												
目指す成果 (期待される効果)	感染症対策用災害物資の備蓄拡充を推進することで、避難所における感染症対策が強化され、感染リスクの抑制が期待できる。													
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)	目標 (何をどのようにする)										達成時期 (いつまでに)			
	感染症対策用災害物資の数量等の拡充を計画的に推進する。										令和5年3月			
事業費積算内容	事業費(経費)		財源内訳(単位：千円)											
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源							
	6,100 千円			2,033			4,067							
消耗品費(感染症対策用災害物資購入費) 6,100千円														
事業実施スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
	補助金申請・交付決定			契約事務・発注			納品							
予算書及び予算説明書該当ページ			113ページ											

主要・新規事業等

事業名等	地域生活支援事業（障がい者地域生活総合支援業務委託）【継続】													
担当グループ	福祉部介護障がいグループ													
総合計画区分	基本目標	IV いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう						個別目標	(10) 一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めます					
予算区分	会計	一般会計		款	03民生費		項	01社会福祉費		目	03障害者在宅・施設介護費			
アクションプラン	事業名 02地域生活支援事業 <input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	国の第5期障害福祉計画において、障害者地域生活支援拠点等を整備することとされており、本市においても、自立支援協議会の中に地域生活支援拠点部会を設け、地域生活支援拠点等の整備について検討してきた。												
	目的 (何のために)	障がい者の重度化や・高齢化や「親亡き後」を見据え、障がい者やその家族が地域で安心して生活することができるようにするため。												
	対象 (誰・何を対象に)	市内に居住地を有する者及びグループホーム等に住んでいる居住地特例に該当する者のうち、以下の者を対象とする。 ・障害者手帳所持者 ・障害福祉サービス、障害児通所支援及び地域生活支援事業受給者 ・特別支援学校・特別支援学級在籍者、医師の診断書がある者												
	事業内容 (手段、手法など)	障がい者やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、市より委託を受けた高浜市社会福祉協議会（たかはま障がい者支援センター）内に地域生活支援コーディネーターを配置し、「地域生活支援拠点等」を整備する。 「地域生活支援拠点等」の役割は、①緊急時には24時間365日の相談体制、②緊急時の受入れ、③体験の機会・場、④専門的人材の確保・養成、⑤地域の体制づくりを実施する場や体制のことである。												
目指す成果 (期待される効果)	障がい者やその家族が地域で安心して生活することができる。													
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）			
	地域生活支援拠点等を整備する										令和3年4月			
事業費 積算内容	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）											
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源							
	46,509 千円	17,180				29,329								
・障がい者地域生活総合支援業務委託料 46,509千円 内 地域生活支援拠点等分（人件費、携帯電話、研修費用等） 約8,000千円														
事業実施 スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
	☆事業所へ周知（令和3年3月中実施）													
	☆4/1広報、HP等にて周知													
・コーディネーター配置 ・相談、緊急時の受入れ、体験機会・場等の実施														
☆ 自立支援協議会で 運用状況の検証														
予算書及び予算説明書該当ページ	135ページ													

高浜市地域生活支援拠点体制



主要・新規事業等												
事業名等	小規模保育事業（地域型保育給付費）【新規】											
担当グループ	こども未来部こども育成グループ											
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう					個別目標	(5) 子育て・子育てを支える環境を整えます				
予算区分	会計	一般会計		款	03民生費		項	02児童福祉費		目	02保育サービス費	
	事業名	04小規模保育事業										
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児で待機児童が発生している 										
	目的（何のために）	<ul style="list-style-type: none"> ・安心してこどもを産み、育てられるよう、保育ニーズに対応した子育て環境を整えるため、保育の受け皿を広げる。 										
	対象（誰・何を対象に）	3歳未満児及びその家族										
	事業内容（手段、手法など）	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭的保育の「からんこえ」定員5名を、定員10名の小規模保育所に移行して、家庭的保育事業から小規模保育事業に事業を移行する（令和3年4月予定）。 ・小規模保育事業として実施する施設運営主体の法人に、地域型保育給付費を毎月給付する。公定価格－利用者負担額＝地域型保育給付費 										
目指す成果（期待される効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・安心してこどもを産み、育てられるよう、保育ニーズに対応した子育て環境整備が進む。 											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）	
	令和3年4月より小規模保育からんこえで定員10名の児童を受入れる										令和3年4月	
事業費積算内容	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
	24,680 千円		13,000	4,936			6,744					
小規模保育「からんこえ」 公定価格 27,119,880円－保育料2,439,960円＝事業費24,679,920円												
事業実施スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	事業運営 ←—————→											
予算書及び予算説明書該当ページ		151ページ										

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成27年度 ～ 令和2年度	総事業費	72,067千円			
これまでの主な取組と成果	家庭的保育事業の「からんこえ」定員5名にて0歳児から2歳児までの児童を受入れ、地域型保育給付費として施設運営主体の法人に、地域型保育給付費を給付してきた。					
令和2年度 (予算)	取組内容	家庭的保育事業の「からんこえ」定員5名にて0歳児から2歳児までの児童を受入れる。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	13,027千円	6,705	2,721			3,601
主な経費	地域型保育給付費 家庭的保育「からんこえ」分 13,027千円					
令和元年度 (決算)	取組内容	家庭的保育事業の「からんこえ」定員5名にて0歳児から2歳児までの児童を受入れる。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	12,031千円	6,311	2,561			3,159
主な経費	地域型保育給付費 家庭的保育「からんこえ」分 12,031千円					

主要・新規事業等													
事業名等	新型コロナウイルス感染症対策推進事業 (個別接種業務委託等) 【新規】												
担当グループ	福祉部健康推進グループ												
総合計画区分	基本目標	IV いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう				個別目標	(11) 一人ひとりの元気と健康づくりを 応援します						
予算区分	会計	一般会計	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	01保健衛生総務費					
	事業名	04新型コロナウイルス感染症対策推進事業											
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない												
事業概要	事業の必要性・実施の背景	新型コロナウイルス感染症は全国的に感染が拡大しており、感染予防として市民を対象としたワクチン接種を実施する必要がある。											
	目的 (何のために)	市民への円滑なワクチン接種を実施することにより、新型コロナウイルス感染症の流行から市民の生命及び健康を守る。											
	対象 (誰・何を対象に)	市民											
	事業内容 (手段、手法など)	個別接種業務委託料 かかりつけ医など市内医療機関が実施する個別接種の接種費用 集団接種業務委託料 いきいき広場健康ホールで実施する集団接種の接種費用											
目指す成果 (期待される効果)	新型コロナウイルス感染症を収束させ、市民の生命・健康を守る。												
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)	目標 (何をどのようにする)										達成時期 (いつまでに)		
	国が示す接種順位に基づき、市民へのワクチン接種を実施する。										令和3年12月		
事業費 積算内容	事業費 (経費)		財源内訳 (単位: 千円)										
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
	250,799 千円		250,799										
個別接種業務委託料		221,582千円											
集団接種業務委託料		25,477千円											
事業実施 スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
	高齢者向け優先接種		基礎疾患を有する方										
			高齢者施設等の従事者										
		上記以外の方											
予算書及び予算説明書該当ページ		163ページ											

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成2年度	総事業費	29,640 千円			
これまでの 主な取組 と成果	<p>新型コロナウイルス感染症が長期化する中、新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行が懸念される冬季を前に、医療機関が行う新型コロナウイルス感染拡大防止の取組を支援するため補助制度を設けるとともに、オゾン発生器等を購入し、新型コロナウイルスの感染拡大に努めた。</p> <p>また、4月初旬からの円滑なワクチン接種の実施に向けて準備を進めた。</p>					
令和2年度 (予算)	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関が行う新型コロナウイルス感染拡大防止の取組に対して補助を行う。 ・4月からの円滑なワクチン接種の実施に向けて準備を進めている。 				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	42,635 千円	42,635				
主な 経費	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止等支援補助金 17,300千円 ・オゾン発生器購入 5,914千円 ・保健総合システム修正業務委託料 1,144千円 等 					

主要・新規事業等

事業名等	母子保健事業（機械器具費）【新規】													
担当グループ	福祉部健康推進グループ													
総合計画区分	基本目標	IV いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう						個別目標	(11) 一人ひとりの元気と健康づくりを 応援します					
予算区分	会計	一般会計			款	04衛生費		項	01保健衛生費		目	02保健・予防費		
アクションプラン	事業名 02母子保健事業 <input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・ 実施の背景	視力検査においても早期発見・早期治療が大切である。強い屈折異常（遠視、近視、乱視）や斜視が見逃された場合、必要な治療が遅れることで十分な視力が得られなくなってしまう。												
	目的 (何のために)	3歳児健診の視力検査において、弱視の危険因子となる屈折異常及び斜視を早期に発見し、早期治療につなげる。												
	対象 (誰・何を対象に)	3歳児健診対象児												
	事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> 3歳児健診で、視機能異常（屈折異常、斜視）の発見に効果のあるスポットビジョンスクリーナー（検査機器）を活用した視力検査を実施する。 検査の結果、屈折異常や斜視の疑いがある場合は、眼科医療機関への受診につなげる。 												
目指す成果 (期待される効果)	スポットビジョンスクリーナーを活用したスクリーニングを実施することで、視覚異常の早期発見が可能となり、速やかに必要な治療につなげることができ、弱視の予防につながる。													
目標設定 (なるべく定量的な 目標値を記入)	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）			
	3歳児健診で、受診者全員にスポットビジョンスクリーナー（検査機器）を導入した視力検査を実施する。										令和3年7月			
事業費 積算内容	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）										
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
	1,358 千円							1,358						
スポットビジョンスクリーナー 1,298 千円 スポットビジョンスクリーナー用プリンター 60 千円														
事業実施 スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
	契約事務													
				○納品 スポットビジョンスクリーナーを活用した検査を実施										
予算書及び予算説明書該当ページ			165ページ											

主要・新規事業等

事業名等	交通安全指導啓発事業 (自転車用ヘルメット購入費補助金) 【新規】													
担当グループ	都市政策部防災防犯グループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう						個別目標	(9) 安全・安心が実感できる まちづくりを進めます					
予算区分	会計	一般会計			款	08土木費		項	08交通安全対策費		目	02交通安全啓発費		
アクションプラン	事業名: 01交通安全指導啓発事業													
事業概要	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	愛知県内の自転車乗用中における交通事故死者の66.7%は、主に頭部の損傷が原因で亡くなっている。また、負傷者の多くは65歳以上の高齢者と7歳から18歳までの児童・生徒などが占めている。 自転車乗用中にヘルメットを正しく着用することで、頭部損傷による死者の割合は、およそ4分の1に低減すると言われており、自転車用ヘルメットの着用率を上げていく必要がある。												
	目的 (何のために)	交通安全対策の一つとして、事故の影響を受けやすい高齢者、児童・生徒などへの自転車用ヘルメットの着用率の推進を図ることで、交通事故による死傷者数を減少させるため。												
	対象 (誰・何を対象に)	①令和3年度中に65歳以上になる高齢者(予定) ②令和3年度中に7歳から18歳までになる児童・生徒など(予定)												
	事業内容 (手段、手法など)	対象者が自転車用ヘルメットを購入した際に、購入費の一部を補助する。 ①補助率: 1/2(予定) ②補助限度額: 最大2千円(予定) ③補助対象ヘルメット: 安全性の認証を受けたもの(SGマーク、JCFマークなど)(予定) ※本事業については、愛知県において補助要綱の整備等が進められており、その動向によっては事業内容を一部変更する可能性があります。(令和3年1月29日現在)												
目指す成果 (期待される効果)	自転車用ヘルメットの着用率が高まり、交通事故発生件数の減少に繋がる。													
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)	目標(何をどのようにする)										達成時期(いつまでに)			
	人口1,000人当たりの交通事故発生件数を令和2年実績より減少させる。										令和4年3月			
事業費 積算内容	事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)										
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
	576千円				288			288						
自転車用ヘルメット購入費補助金 576千円(2千円×288件)														
事業実施 スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
	補助制度の開始													
	補助制度の周知(広報たかはま、高浜市公式ホームページ、いきいきクラブ、学校など)													
予算書及び予算説明書該当ページ			199ページ											

主要・新規事業等												
事業名等	教育委員会運営事業（保護者連絡システム導入業務委託等）【新規】											
担当グループ	教育委員会学校経営グループ											
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう					個別目標	(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます				
予算区分	会計	一般会計	款	10教育費	項	01教育総務費	目	01教育委員会費				
アクションプラン	事業名 01教育委員会運営事業											
	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	児童生徒が欠席する場合、学校に保護者が連絡をすることになっている。しかし、保護者の仕事の都合等で始業までに連絡ができないことがある。また、インフルエンザの流行期など、電話がなかなかつながらないという現状がある。受ける側の学校においても、インフルエンザの流行期など電話が絶えることなく鳴り続け対応に苦慮することもある。また、保護者への配付物が子どもたちの机やランドセルの奥で滞っており、タイムリーに保護者に渡らないこともある。										
	目的（何のために）	保護者にとっても教員にとっても事務等の効率化を進めるため。また、保護者へのタイムリーかつ確実な情報提供を図ることができるようにするため。										
	対象（誰・何を対象に）	保護者・教員										
	事業内容（手段、手法など）	学校と保護者のパソコンやタブレット、スマートフォンをつなぐ連絡システムを導入する。 ・保護者からの欠席連絡を24時間受付 ・紙媒体の配付物を電子媒体で配付 ・緊急連絡をメールマガジンで発出（既読にならない保護者の端末には自動で再通知を発出） ・端末の利用による保護者アンケートの実施及び自動集計										
目指す成果（期待される効果）	教員の多忙化が緩和されるとともに、保護者にとっても配付物がタイムリーかつ確実に届けられたり、欠席連絡を時間を気にすることなく伝えられたりするなど、これまでの課題を解決することができる。											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）	
	保護者連絡システムの導入を完了する。										令和3年10月	
事業費積算内容	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
	1,199 千円					297	902					
・学校・保護者をつなぐ連絡システムの導入費用 605千円 ・月々の運用費用 594千円 ※運用費用の1/2は保護者負担												
事業実施スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
				契約手続き			システムの導入・運用開始					
予算書及び予算説明書該当ページ			203ページ									

主要・新規事業等												
事業名等	小学校維持管理事業 (港小学校長寿命化改良事業設計業務委託) <<債務負担行為>> 【新規】											
担当グループ	教育委員会学校経営グループ											
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう					個別目標	(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます				
予算区分	会計	一般会計	款	10教育費	項	02小学校費	目	01学校管理費				
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	港小学校は、建築後45年が経過し、老朽化が進んでおり、今後も厳しい財政状況が予想される中では、効果的・効率的に長寿命化対策を実施し、校舎を長く使っていくことが欠かせない。										
	目的 (何のために)	港小学校を将来にわたって長く使い続けるための長寿命化改修工事に向けた基本設計及び実施設計等を行うため。										
	対象 (誰・何を対象に)	港小学校校舎等										
	事業内容 (手段、手法など)	港小学校の長寿命化改修工事に向けた基本設計・実施設計を行う。 ・経年による外壁等の劣化の改修 ・水道、電気、ガス管等のライフラインの更新 ・建物の機能や性能を向上させるもの ・学校現場との協議等 【スケジュール】 令和3～4年度：設計業務、令和5年度：交付金申請、令和6～8年度：長寿命化改修工事										
目指す成果 (期待される効果)	物理的な不具合を直すとともに、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる長寿命化改修工事につなげ、学校施設の長寿命化を図る。											
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)	目標 (何をどのようにする)										達成時期 (いつまでに)	
	港小学校の長寿命化改修工事に向けた実施設計等を完了する。										令和5年3月	
事業費積算内容	事業費 (経費)		財源内訳 (単位：千円)									
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
	16,192 千円						16,192					
<<現年度予算>> ・港小学校長寿命化改良事業実施設計等業務委託料 16,192千円 <<債務負担行為>> 期 間：令和4年度 限度額：港小学校長寿命化改良事業実施設計等業務委託料 33,737千円 <<合計>> 49,929千円												
事業実施スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	契約手続き			基本設計								
予算書及び予算説明書該当ページ	209・264ページ											

主要・新規事業等

事業名等	中学校維持管理事業（高浜中学校プール改修工事費等）【新規】													
担当グループ	教育委員会学校経営グループ													
総合計画区分	基本 目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう						個別 目標	(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、 12年間の学びや育ちをつなげます					
予算区分	会計	一般会計		款	10教育費		項	03中学校費		目	01学校管理費			
アクションプラン	事業名 02中学校維持管理事業													
	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・ 実施の背景	既設プール、管理棟及び更衣室棟は、設置後53年が経過しており、施設全体の老朽化が進み、特に管理棟及び更衣室棟の老朽化が著しい。												
	目的 (何のために)	今後、長期的にプール運営を行うために、建屋の改築、プール設備の更新及びプール槽の改修を行う。												
	対象 (誰・何を対象に)	高浜中学校プール等												
	事業内容 (手段、手法など)	①高浜中学校プール改修工事 ・管理棟解体・建設工事 ・プール改修工事 ②上記工事の工事監理業務委託												
目指す成果 (期待される効果)	物理的な不具合を直すとともに、プールの機能を求められている水準まで引き上げ、プール施設の長寿命化を図る。													
目標設定 (なるべく定量的な 目標値を記入)	目標 (何をどのようにする)										達成時期 (いつまでに)			
	高浜中学校プール改修工事を完了する。										令和4年3月			
事業費 積算内容	事業費 (経費)			財源内訳 (単位：千円)										
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
	111,232 千円			3,528		81,700		26,004						
事業費積算内容			①高浜中学校プール改修工事			105,600千円								
			②高浜中学校プール改修工事監理業務委託料			5,632千円								
事業実施 スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
				契約手続き			高浜中学校プール改修工事							
				契約手続き			高浜中学校プール改修工事監理業務委託							
予算書及び予算説明書該当ページ			215ページ											

主要・新規事業等

事業名等	中学校維持管理事業（高浜中学校トイレ改修工事費）【新規】													
担当グループ	教育委員会学校経営グループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標	(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます					
予算区分	会計	一般会計	款	10教育費	項	03中学校費	目	01学校管理費	事業名				02中学校維持管理事業	
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	生活環境の変化により、一般家庭のトイレの便器は和式から洋式へと変化したが、高浜中学校のトイレは大便器洋式化率が11.1%と低い状況にある。また、タイル目地や便器にアンモニアがしみ込み、悪臭が酷い状態が見受けられる。												
	目的 (何のために)	既設校舎トイレについて、衛生面、安全面、使い勝手、経済性、維持管理面を改善し、教育環境を向上させるため。												
	対象 (誰・何を対象に)	高浜中学校の生徒・教職員												
	事業内容 (手段、手法など)	既存の和式便器の洋式便器への取り替え及び湿式トイレから乾式トイレへ改修するための工事を実施する。(北校舎東側1階～4階)												
目指す成果 (期待される効果)	学校施設の衛生面、安全面、使い勝手など、教育環境の向上につながる。													
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)	目標 (何をどのようにする)										達成時期 (いつまでに)			
	高浜中学校北校舎東側の洋式便器化及び乾式トイレ化を実現する。										令和4年3月			
事業費積算内容	事業費(経費)		財源内訳(単位:千円)											
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源							
	70,752 千円		5,661		57,700	7,340	51							
高浜中学校トイレ改修工事(北校舎東側トイレ1階～4階) 70,752千円 ・建築工事 ・電気工事 ・設備工事														
事業実施スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
	契約手続き			高浜中学校トイレ改修工事										
予算書及び予算説明書該当ページ			215ページ											

主要・新規事業等

事業名等	生涯スポーツ推進事業（体育センター解体工事費等）【継続】											
担当グループ	こども未来部文化スポーツグループ											
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう					個別目標	(3) 学び・文化・スポーツの輪を広げ、まちのチカラを育みます				
予算区分	会計	一般会計		款	10教育費		項	06保健体育費		目	02生涯スポーツ費	
アクションプラン	事業名 01生涯スポーツ推進事業											
	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	「公共施設総合管理計画」では、体育センターは総量圧縮を図る施設として、高浜小学校の建替えにあわせて機能移転することが位置付けられている。令和2年12月に体育センターは閉場し、令和3年1月にメインアリーナ・サブアリーナがオープンした。										
	目的（何のために）	老朽化等による施設・設備の改修費用を抑制するとともに、施設の総量圧縮を図るため。										
	対象（誰・何を対象に）	高浜市体育センター										
	事業内容（手段、手法など）	体育センターの解体工事を行う。										
目指す成果（期待される効果）	施設・設備の改修費用を抑制するとともに、施設機能の統合により、維持管理費の軽減が図られる。											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）	
	体育センター解体工事の完了										令和3年8月	
事業費積算内容	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
	54,710 千円				49,200		5,510					
事業費積算内容		体育センター解体工事費 53,588千円 体育センター解体工事監理業務委託料 1,122千円										
事業実施スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
		監理業務委託										
		解体工事										
予算書及び予算説明書該当ページ		231ページ										

これまでの主な取組と成果

事業年度	令和元年度 ～ 令和2年度	総事業費	4,203千円			
これまでの主な取組と成果	体育センターの廃止及び解体に向けて、令和元年度に、事前調査として、アスベスト含有調査及びPCB含有点検を実施し、調査結果を基に解体工事に必要な設計積算を実施した。 令和2年度には、解体工事監理業務委託の発注及び解体工事の発注を実施した。					
令和2年度 (予算)	取組内容	体育センターの解体に向けた工事監理業務委託契約の締結 体育センターの解体に向けた工事発注				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
	千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ・解体工事監理業務委託 1,122千円(債務負担) ・解体工事（設計金額） 53,588千円(債務負担) 				
令和元年度 (決算)	取組内容	体育センターの解体に向けたアスベスト含有調査及びPCB含有点検の実施 体育センターの解体に向けた試掘の実施 体育センターの解体に向けた設計書の作成				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
	4,203 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ・解体工事設計業務委託 2,860,000円 ・アスベスト含有調査業務委託 694,440円 ・PCB含有点検業務委託 432,358円（他施設含む） ・試掘調査業務委託 216,000円 				